

掲載日：2009年7月29日

丹沢ボラネット瓦版 2009年6月号 No.68

登山者利用実態調査を実施しました

2009年度の標記調査は4月26日（日曜日）に実施いたしました。当日の結果は以下のとおりです。



表1 大山山頂 4月26日8時 - 15時 調査実施

方面	西沢ノ頭	唐沢峠	見晴台	下社	ヤビツ峠	大山山頂計
上り人数	1	10	107	327	125	570
下り人数	6	6	244	183	79	518
計	7	16	351	510	204	1088

表2 塔ノ岳山頂 4月26日8時 - 15時 調査実施

方面	丹沢山	新大日	大倉	鍋割山	熊木沢出合	塔ノ岳山頂計
上り人数	49	179	247	36	2	513
下り人数	63	112	236	63	1	475
計	112	291	483	99	3	988

表3 蛭ヶ岳山頂 4月26日8時 - 15時 調査実施

方面	姫次	丹沢山	檜洞丸	蛭ヶ岳山頂計
上り人数	3	37	3	43
下り人数	20	20	2	42
計	23	57	5	85

表4 大倉尾根 4月26日8時 - 15時 調査実施

方面	塔ノ岳	鍋割山	大倉尾根計
上り人数	247	4	251
下り人数	236	22	258
計	483	26	509

水質調査を実施しました

今年の水質調査は5月中に実施しました。過去3年の大腸菌群数の調査結果を一覧にします。

調査地点		大腸菌群数 (1ミリリットル当たりの個数)			調査地点		大腸菌群数 (1ミリリットル当たりの個数)		
		2009年	2008年	2007年			2009年	2008年	2007年
1	半原越付近	0	0	1	16	塔ノ岳水場	0	0	9
2	谷太郎川不動尻付近	1	0	1	17	山北町人遠	5	22	31
3	日向林道起点水場	0	2	0	18	中ノ沢乗越水場	0	0	4
4	護摩屋敷跡の水	0	0	0	19	西丹沢県民の森	0	-	0
5	堂平沢	0	1	4	20	仲ノ沢法面湧水	0	-	0
6	不動ノ峰	0	5	0	21	用木沢出合	1	0	3
7	原小屋平水場	2	0	-	22	一軒屋避難小屋前	0	2	0
8	黍穀山避難小屋	0	10	18	23	地藏平	1	2	3
9	大山弘法の水場	0	0	0	24	切通沢	0	1	2
10	春嶽湧水	0	0	1	25	神ノ川乗越	3	0	0
11	葛葉の泉	0	1	0	26	犬越路ずい道水場	0	0	1
12	竜神の泉	0	0	0	27	犬越路日陰沢	0	0	1
13	後沢乗越水場	0	0	0	28	エビラ沢出合	0	0	0
14	二俣の水場	0	3	0	29	加入道山東屋付近	0	4	0
15	大倉高原山の家水場	0	1	6	30	ブナ沢水場	0	0	0

注) 調査期日は例年5月



中ノ沢乗越(経角沢)水場



護摩屋敷跡の水場

連絡・報告事項

自然環境保全センター新本館がオープン



県自然環境保全センターは、丹沢大山のボランティア活動の拠点を目指して整備を進めてきましたが、その新本館がリニューアルオープンし、6月5日に開所式が行われました。

建物の特徴としては、県産木材をふんだんに使用したことや自然エネルギーを活用した設備があげられます。

新本館には、展示ギャラリーや図書室、レクチャールーム（定員100名）が設けられ、丹沢大山再生のための新たな活動拠点として期待されます。



開館記念の展示ギャラリーでは、ボラネットほか、丹沢大山で保全活動に取り組むNPO団体等の紹介パネルが展示されています。（奥津）

行事案内

夏休み親子自然探検隊 参加者募集

日時： 7月26日（日曜日）8時30分 小田急線新松田駅北口集合

参加費： 子供800円 大人1500円（保険代・バス代）

定員： 小学生（保護者同伴）・中学生30人

【申し込み】

往復はがきにイベント名、参加者全員の郵便番号・住所・氏名・年齢・性別・電話番号を明記し申込み
みるく山の会 ボラネット係 まで（7月15日締め切り）

自然環境保全センターホームページからボラネット瓦版を公開しています

ボラネット瓦版が保全センターのホームページから公開されておりますので、一度ご覧ください。

「私たちのくらしと丹沢」重版されました



丹沢で起きている環境問題を分かりやすく解説した小冊子。小学生高学年向けに編集してありますが、大人の入門書としても最適です。（A3用紙40ページ）

本書を利用希望の方は事務局まで。

ボラネットシンポジウム 予告

「登山者のための-ヤマビル シンポジウム」

<主催> 丹沢大山ボランティアネットワーク（丹沢ボラネット）

<後援> 丹沢大山自然再生委員会

<協力> 神奈川県自然環境保全センター

丹沢のヤマビルはますます生息域をひろげているようです。

2008年度の調査では新たに世附、玄倉、大野山、中川の各地区でヤマビル情報が寄せられております。では、ヤマビルとはどのような生き物なのか。山を歩く立場から丹沢での実状報告を聞き、今後の対応について考えていく場にしたいと考え、ヤマビルについてのシンポジウムを次のとおり開催いたします。リニューアルした自然環境保全センターの見学も兼ねてご参加ください。

日時： 8月30日（日曜日）10時 - 12時30分

会場： 県自然環境保全センターレクチャールーム（本厚木駅 バス30分）

参加費： 無料

定員： 60名（申込み先着順）

申込み・問合せ： 氏名・連絡先を記して下記にファクスか電子メールでお申し込みください。

ボラネット事務局 自然環境保全センター自然保護課 ファックス：046-248-0737

【プログラム】（予定、タイトルは仮）

1 ヤマビル・その生態について 岩見光一（県自然環境保全センター）

2 事例報告：丹沢に於けるヤマビルの生息域の実状

1) 県ヤマビル対策共同研究から 県ヤマビル対策共同研究推進会議

2) 丹沢を歩いて&現在の状況 神奈川県勤労者山岳連盟

3) 丹沢を歩いて&少し以前の状況 北丹沢山岳センター

3 意見交換 氏名・連絡先を記して下記にFAXかメールでお申し込みください。

ボラネット事務局 自然環境保全センター自然保護課 ファックス：046-248-0737

各自昼食後、希望者は、現地七沢周辺の見学会（13時15分 - 15時）

ガイド： かながわフィールドスタッフクラブグリーンタフ

お問合せ・連絡先（協働編集事務局）

神奈川県自然環境保全センター 自然保護課 大木伸一

〒243-0121 厚木市七沢657 電話：046 - 248-6682 ファックス：046-248-0737

問い合わせフォームURL：<http://www.pref.kanagawa.jp/sosiki/kannou/1644/index.html>

丹沢ボラネット瓦版6月号

2009年6月20日発行

丹沢大山ボランティアネットワーク（世話人代表 奥津昌哉）

神奈川県

このページの所管所属は [自然環境保全センター](#) です。